

## 会 議 録

会議の名称	第2回那珂川市国民健康保険運営協議会		
開催日時	令和元年12月26日(木) 19:00~20:00	開催場所	保健センター2階健康増進室
出席者	1. 委員 原口委員、吉野委員、小塚委員、大神委員、岡藤委員 黒崎委員、仲吉委員、野尻委員 2. 執行機関(事務局) 伊藤課長、小森課長、玉水係長、寺師係長、村田、古賀 3. その他		
配布資料	平成30年度国民健康保険事業特別会計決算について 平成30年度特定健診の結果・今後の取り組みについて 国民健康保険事業費納付金に伴う財政状況について		
議題及び審議の内容	記録者：村田		
1. 会長あいさつ。			
2. 報告事項 (1) 平成30年度国民健康保険事業特別会計決算について 事務局から説明。			
<b>【質疑】</b> 委 員：国民健康保険事業特別会計決算の歳出について、その他の支出が前年度に比べて大きく上がっているが、その理由はなにか。  事務局：平成29年度国民健康保険療養給付費等負担金等の交付額が、概算で交付された金額に対して実績の金額が下回ったことで、平成30年度に超過交付の返還金として生じたため。  委 員：こういうことは、これからもあるのか。  事務局：平成30年度の広域化に伴って、療養給付費交付金の返還金は発生しないようになる。			
<b>【異議】</b> 特になし			
(2) 平成30年度特定健診の結果・今後の取り組みについて 事務局から説明。			

【質疑】

委員：個人の医療機関で検診をした場合は、保健師による保健指導がないということだが、医療機関と保健師とが繋がるといえることはできないのか。

事務局：医療機関で検診を受けた方は、結果の説明を医師から受けていると思うが、私たちは医師からの説明がどういったものだったのかを聞き取りによって、保健指導をさせていただいている。

【異議】

特になし

(3) 国民健康保険事業費納付金に伴う財政状況について  
事務局から説明。(R2年度に税改正は行わない旨を説明する。)

【質疑】

委員：何年度から保険税を上げていないのか。

事務局：平成20年度から改正を行っていない。

委員：保険税率について、いきなり上げた方がいいのか、小刻みに上げていった方がいいのか、どのように考えているのか。

事務局：その件については、負担能力等を考慮すると、いきなり上げるということは厳しいと考えている。何回に分けて上げていくかに関しては、これからの運営協議会で検討させていただきたい。

委員：那珂川市は他市町村と比べて、医療費水準や所得水準は、どのようになっているのか。

事務局：一人当たりの総所得に関しては、県の資料をもとに独自で算出してみたが、60市町村の内約22番目になっている。医療費は他市町村に比べて低い水準にある。

委員：医療費の抑制については、どの病気に一番高額な医療費が使われているかなど、レセプトの調査分析をしながら対処していただきたい。保険税率を上げることについては、負担能力が低い市民がいる中で上げていくと、収納率が下がるのではないかと考える。まずは税率を上げる前に、市全体で関係課と対策を考えていただきたい。これらについ

て、何か考えているのか。

事務局：現在は保険者努力支援制度交付金額を上げていくために、収納率を上げることや、保険事業の取り組みをしっかりと行っている。市ですっかり努力した上で、保険税率の改正は最後の手段だと考える。

そして負担能力に関しては、保険税を所得で計算する部分（所得割）と所得以外で計算する部分（均等割・平等割）があるので、被保険者の負担能力に合った負担割合を、税を上げる前に十分に検討していくべきだと考える。

委員：一人当たりの医療費が上がる要因はなにか。

事務局：高額薬剤が出ていることと、高度医療が影響していると考ええる。

#### 【異議】

特になし

#### 3. その他

事務局から特になし

委員：平成 30 年度の決算報告で国保税の不能欠損が大きい金額で出ているが、5 年の時効によるものなのか。

事務局：第三回の運営協議会で回答させていただく。

その他委員から

特になし